

第 4 相談援助係

1 技術指導及び技術援助

(1) 事業の目的

地域精神保健福祉活動を推進するため、精神保健福祉の専門的中枢機関として、保健福祉事務所をはじめ各種関係機関に対して技術指導及び技術援助を行っている。

(2) 事業の実績

平成21年度の技術指導・援助件数は18件であり、対象者別延人数は632人であった。

NO	実施日	事業内容	主催者	対象者	出席数	対応職種
1	21.5.29	非行少年に対応する上で必要な精神疾患の基礎知識	県警生活安全部少年課(少年育成センター)	少年警察補導員等	28	医師:1名
2	21.5.30	相談員のメンタルケア～うつ予防を中心に～	障害者相談支援ぐんま	相談支援専門員	35	医師:1名
3	21.7.1	「もの忘れ検診」受診者の医療機関紹介者への対応	みどり市健康管理課	もの忘れ検診受診者	12	保健師:1名
4	21.7.14	「もの忘れ検診」受診者の医療機関紹介者への対応	みどり市健康管理課	もの忘れ検診受診者	8	医師:1名、 保健師:1名
5	21.7.16	「もの忘れ検診」受診者の医療機関紹介者への対応	みどり市健康管理課	もの忘れ検診受診者	5	医師:1名、 保健師:1名
6	21.7.28	発達障害の理解とその対応	県特別支援教育研究会病弱・身体虚弱教育部会(赤城養護)	県内養護学校教員	100	医師:1名
7	21.7.29	「もの忘れ検診」受診者の医療機関紹介者への対応	みどり市健康管理課	もの忘れ検診受診者	5	保健師:1名
8	21.8.5	「もの忘れ検診」受診者の医療機関紹介者への対応	みどり市健康管理課	もの忘れ検診受診者	7	保健師:1名
9	21.8.20	児童期・青年期の精神保健	群馬県総合教育センター	幼・小・中・高・中等・ 特の教職員	50	医師:1名
10	21.9.7	高校生によくみられる精神疾患や軽度発達障害等への理解とその対応	県立高崎東高等学校	高崎東高等学校教員	36	医師:1名
11	21.9.30	複雑化する相談内容への対応方法について	伊勢崎保健福祉事務所	管内保健師	19	医師:1名
12	21.10.7	複雑化する相談内容への対応方法について	伊勢崎保健福祉事務所	管内保健師	19	医師:1名
13	21.10.30	「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」における入院形態と事務処理手続き	西部保健福祉事務所	西部保健福祉事務所管内保健師	40	医師:1名
14	21.11.21	こころの相談を行う人へ	県看護協会沼田地区支部保健師分会	県看護協会沼田地区支部保健師	23	医師:1名
15	21.11.27	精神疾患とその対応	東部保健福祉事務所	保健師、精神障害者施設職員、病院相談員	18	医師:1名
16	21.12.8	特に配慮を必要とする子どもの理解と学校での対応	県教育委員会スポ - ツ健康課	教職員	155	医師:1名
17	22.1.29	精神科救急情報センター - 業務	館林保健福祉事務所	管内保健師等	32	医師:1名
18	22.2.10	薬物依存について、薬物依存症者への対応	前橋市教育委員会青少年課	ユ - スアドバイザー	40	保健師:1名
	合計				632	

2 精神保健福祉相談

(1) 電話相談

1) 事業の目的

県民が気軽にこころの悩みや不安について相談し、こころの健康を回復できることを目的として実施する。

2) 事業の実績

土日祝日を除く午前9時から午後5時まで、嘱託相談員2名を配置し、2回線の専用電話で行った。

延相談件数は4,633件、うち実相談件数は1,918件となっている。

相談対象者

延相談件数で見ると、自分のことの相談が74.6%と最も多く、次いで子供のことが12.3%、配偶者が3.5%、その他の親族が3.4%、親のことが2.0%であった。

相談経路

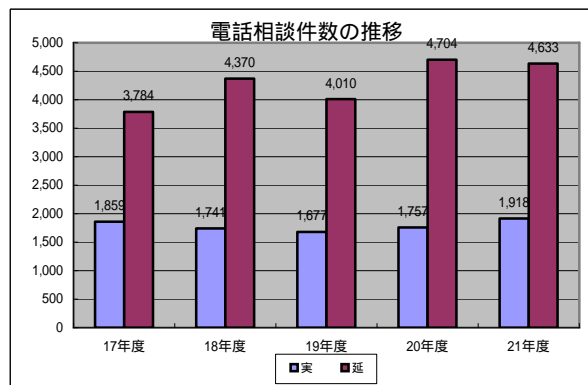
実相談件数では保健・福祉関係が23.7%で最も多く、次にインターネット、18.2%、新聞・広報等15.6%であった。

相談の内容

実相談件数を見ると、精神的な病気・障害に関するこころの不安・疑問・対応方法が38.6%と最も多かった。次いで診療機関・相談機関に関するこころのことが19.1%、当センターに関するこころのことが5.5%、対人関係及び心理的なことで家庭内のことが5.4%、行動上の問題に関するこころのその他の嗜癖4.2%、行動上の問題に関するこころの社会的問題行動が2.9%であった。延相談件数では、対人関係及び心理的なことで話したい(頻回利用)が24.4%と目立って多い。

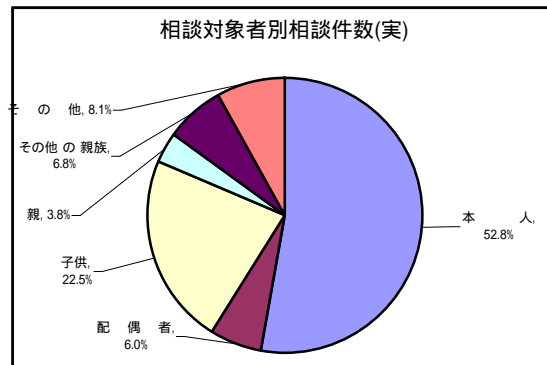
電話相談件数の推移(単位:件)

年度	実	延
17年度	1,859	3,784
18年度	1,741	4,370
19年度	1,677	4,010
20年度	1,757	4,704
21年度	1,918	4,633



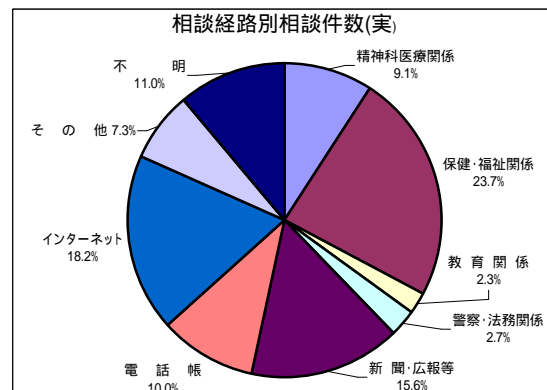
相談対象者別相談件数

相談者	実		延	
	件数	率(%)	件数	率(%)
本人	1,013	52.8%	3,456	74.6%
配偶者	116	6.0%	164	3.5%
子供	431	22.5%	569	12.3%
親	72	3.8%	94	2.0%
その他の親族	131	6.8%	156	3.4%
その他	155	8.1%	194	4.2%
計	1,918	100.0%	4,633	100.0%



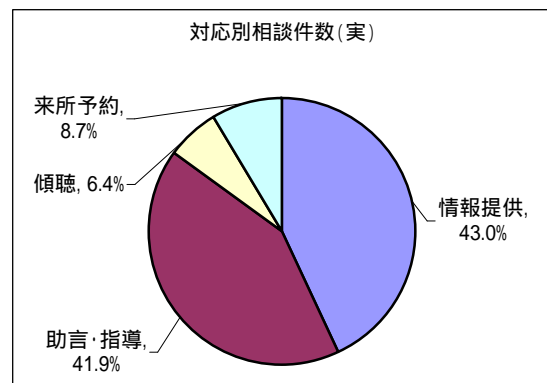
相談経路別件数

相談経路	実		延	
	件数	率(%)	件数	率(%)
精神科医療関係	175	9.1%	408	8.8%
保健・福祉関係	455	23.7%	1,592	34.4%
教育関係	45	2.3%	57	1.2%
警察・法務関係	52	2.7%	64	1.4%
新聞・広報等	299	15.6%	388	8.4%
電話帳	191	10.0%	274	5.9%
インターネット	350	18.2%	410	8.8%
その他	140	7.3%	206	4.4%
不明	211	11.0%	1,234	26.6%
計	1,918	100.0%	4,633	100.0%



対応別相談件数

対応	実		延	
	件数	率(%)	件数	率(%)
情報提供	824	43.0%	1,061	22.9%
助言・指導	803	41.9%	2,376	51.3%
傾聴	123	6.4%	193	4.2%
来所予約	168	8.7%	1,003	21.6%
計	1,918	100.0%	4,633	100.0%



相談時間別相談件数

相談時間	実		延	
	件数	率(%)	件数	率(%)
10分未満	1,029	53.6%	3,220	69.5%
10分～30分未満	780	40.7%	1,229	26.5%
30分～60分未満	106	5.5%	179	3.9%
60分以上	3	0.2%	5	0.1%
計	1,918	100.0%	4,633	100.0%

相談対象者の年齢別・男女別相談件数

	年齢区分	男性		女性		不明		計	
		件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)
実	0～9歳	14	1.7%	11	1.1%	1	1.4%	26	1.4%
	10～19	88	10.9%	97	9.3%	4	5.5%	189	9.9%
	20～29	127	15.7%	149	14.4%	0	0.0%	276	14.4%
	30～39	131	16.2%	170	16.4%	2	2.7%	303	15.8%
	40～49	103	12.8%	103	9.9%	0	0.0%	206	10.7%
	50～59	63	7.8%	53	5.1%	1	1.4%	117	6.1%
	60～	65	8.1%	98	9.4%	0	0.0%	163	8.5%
	不明	216	26.8%	357	34.4%	65	89.0%	638	33.3%
	計	807	100.0%	1,038	100.0%	73	100.0%	1,918	100.0%
延	0～9	14	0.7%	11	0.4%	1	1.3%	26	0.6%
	10～19	110	5.3%	126	5.1%	4	5.0%	240	5.2%
	20～29	234	11.3%	228	9.2%	0	0.0%	462	10.0%
	30～39	251	12.1%	469	18.9%	2	2.5%	722	15.6%
	40～49	630	30.4%	330	13.3%	0	0.0%	960	20.7%
	50～59	243	11.7%	459	18.5%	1	1.3%	703	15.2%
	60～	93	4.5%	139	5.6%	0	0.0%	232	5.0%
	不明	497	24.0%	719	29.0%	72	90.0%	1,288	27.8%
	計	2,072	100.0%	2,481	100.0%	80	100.0%	4,633	100.0%

相談内容別相談件数

相談内容		実		延	
		件数	率(%)	件数	率(%)
精神的な病気・障害に関すること	不安・疑問・対応方法	741	38.6%	1,871	40.4%
	診療機関・相談機関	366	19.1%	474	10.2%
行動上の問題に関すること	家庭内暴力	33	1.7%	42	0.9%
	引きこもり	32	1.7%	51	1.1%
	不登校	35	1.8%	44	0.9%
	不適応	6	0.3%	6	0.1%
	社会的問題行動	56	2.9%	70	1.5%
	食行動の異常	33	1.7%	43	0.9%
	その他の嗜癖	80	4.2%	111	2.4%
	虐待	5	0.3%	6	0.1%
	その他	2	0.1%	2	0.0%
	対人関係及び心理的なこと	家庭内のこと	103	5.4%	150
友人・近隣・恋人		36	1.9%	54	1.2%
職場内のこと		25	1.3%	32	0.7%
心理的な相談・自分の性格		12	0.6%	31	0.7%
話したい(頻回利用)		27	1.4%	1,132	24.4%
制度・福祉的なこと	施設に関すること	12	0.6%	17	0.4%
	経済的なこと	22	1.1%	47	1.0%
	就労	29	1.5%	47	1.0%
	日常生活	15	0.8%	26	0.6%
	その他の法・制度	50	2.6%	74	1.6%
教育に関すること	学校	5	0.3%	6	0.1%
	子育て・教育	16	0.8%	20	0.4%
当センターに関すること	当センターに関すること	106	5.5%	152	3.3%
その他	その他	71	3.7%	125	2.7%
計		1,918	100.0%	4,633	100.0%

(2) メール相談

1) 事業の目的

電子メールのメリットを生かした相談を行うことにより、県民が気軽にこころの悩みや不安について相談できる機会を増やし、それによりこころの健康を回復できる一助となることを目的として実施する。

2) 事業の実績

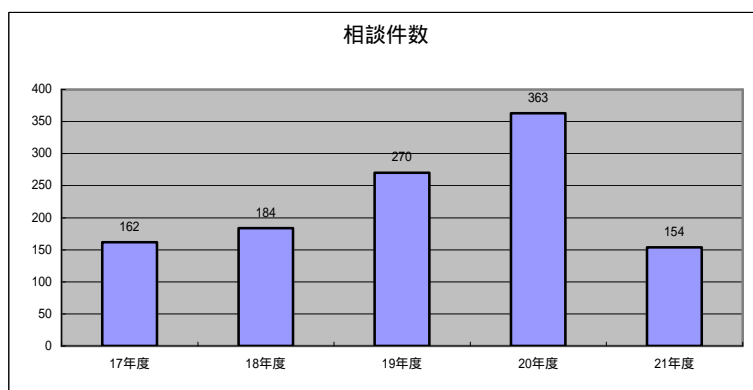
メールの受信は24時間とし、返信は土日祝日を除いた平日に行った。相談の延件数は154件であった。

相談の内容

精神的な病気・障害に関することの不安・疑問・対応方法が42.9%で最も多かった。診療機関・相談機関が12.3%あった。

受付時間帯

22:01～8:59が32.5%で最も多かった。電話相談等相談窓口開設時間外の17:01～8:59に3分の2近く(62.4%)の相談が寄せられた。



相談内容別相談件数

相 談 内 容		件 数	率(%)
精神的な病気・障害に関すること	不安・疑問・対応方法	66	42.9%
	診療機関・相談機関	19	12.3%
行動上の問題に関すること	家庭内暴力	0	0.0%
	引きこもり	3	1.9%
	不登校	1	0.6%
	不適応	0	0.0%
	社会的問題行動	1	0.6%
	食行動の異常	0	0.0%
	その他の嗜癖	1	0.6%
	虐待	0	0.0%
	その他	0	0.0%
	対人関係及び心理的なこと	家庭内のこと	2
友人・近隣・恋人		3	1.9%
職場内のこと		5	3.2%
心理的な相談・自分の性格		7	4.5%
話したい(頻回利用)		10	6.5%
制度・福祉的なこと	施設に関すること	4	2.6%
	経済的なこと	1	0.6%
	就労	3	1.9%
	日常生活	0	0.0%
	その他の法・制度	1	0.6%
教育に関すること	学 校	0	0.0%
	子育て・教育	0	0.0%
当センターに関すること	当センターに関すること	2	1.3%
そ の 他	そ の 他	25	16.2%
	計	154	100.0%

受付時間帯

受 付 時 間	件 数	率(%)
9:00～12:00	18	11.7%
12:01～17:00	40	26.0%
17:01～22:00	46	29.8%
22:01～8:59	50	32.5%
計	154	100.0%

(3) 来所相談

1) 事業の目的

県民がこころの悩みについて、面接相談を受け、対処の方法のアドバイスを受けることによって、こころの健康を回復できることを目的として実施する。

2) 事業の実績

児童思春期、依存症、うつ及びひきこもり等専門の相談を医師、保健師、心理士が実施した。

延相談件数は219件で、昨年より96件減少した。

相談の来所者

実相談件数を見ると、家族のみが47.9%で最も多く、次いで本人と家族が30.5%、本人のみが15.0%であった。約半数の相談に本人が来所した。

年齢別に見ると、10代が22.1%、20代が20.3%、30代が18.5%であった。

来所経路

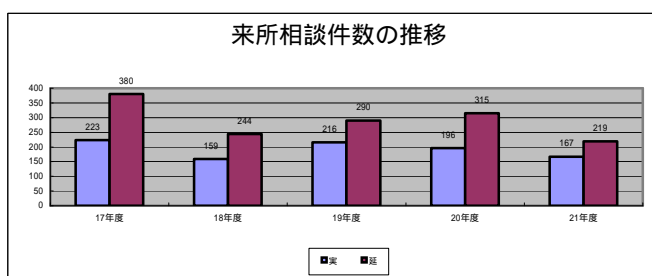
実相談件数を見ると、精神科医療関係16.8%で最も多く、次にインターネットが13.2%、その他12.6%であった。

相談の内容

延相談件数を見ると、精神的な病気・障害に関することの不安・疑問・対応方法が42.0%で最も多く、次いで行動上の問題に関するのひきこもりが12.8%であった。

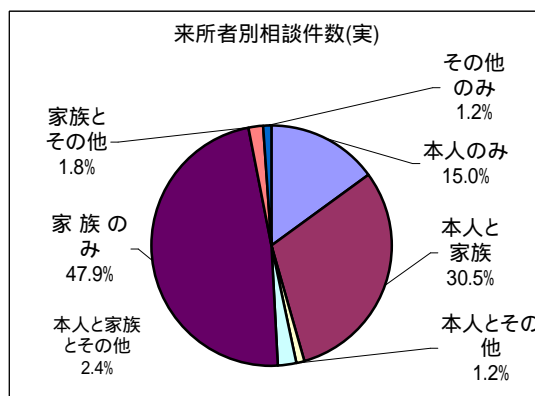
来所相談件数の推移

年度	実	延
17年度	223	380
18年度	159	244
19年度	216	290
20年度	196	315
21年度	167	219



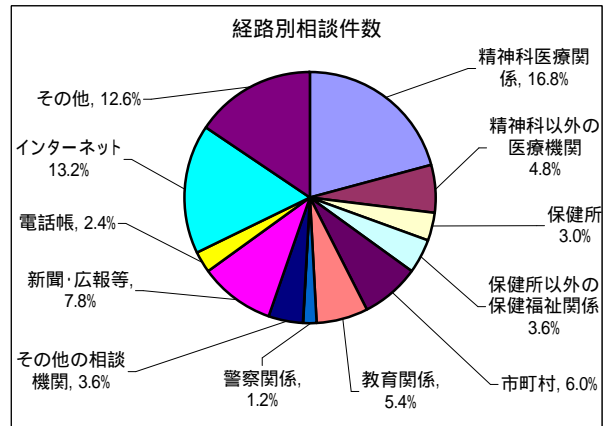
来所者別相談件数

来所者	実		延	
	件数	率(%)	件数	率(%)
本人のみ	25	15.0%	30	13.7%
本人と家族	51	30.5%	88	40.2%
本人とその他	2	1.2%	4	1.8%
本人と家族とその他	4	2.4%	4	1.8%
家族のみ	80	47.9%	87	39.7%
家族とその他	3	1.8%	3	1.4%
その他のみ	2	1.2%	3	1.4%
計	167	100.0%	219	100.0%



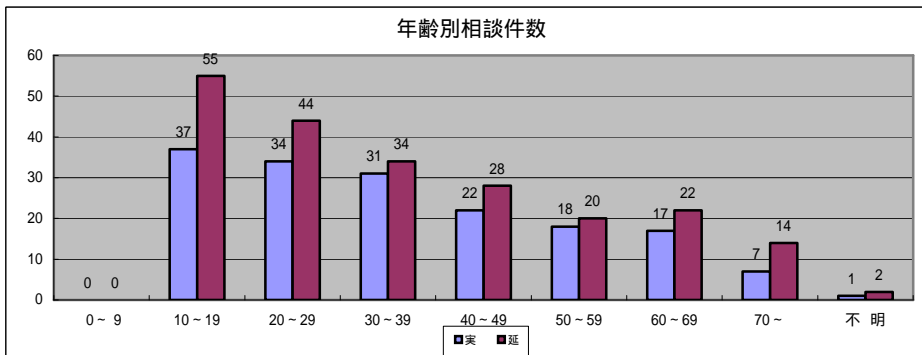
経路別相談件数

経路	件数	率(%)
精神科医療関係	28	16.8%
精神科以外の医療関係	8	4.8%
保健所	5	3.0%
保健所以外の保健福祉関係	6	3.6%
市町村	10	6.0%
教育関係	9	5.4%
警察関係	2	1.2%
司法関係	0	0.0%
その他の相談機関	6	3.6%
新聞・広報等	13	7.8%
電話帳	4	2.4%
インターネット	22	13.2%
その他	21	12.6%
前年度以前からの継続	33	19.8%
計	167	100.0%



年齢別相談件数

	年齢区分	男性		女性		計	
		件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)
実	0～9	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0
	10～19	18	18.4%	19	27.5%	37	22.2
	20～29	23	23.5%	11	15.9%	34	20.4
	30～39	18	18.4%	13	18.8%	31	18.6
	40～49	18	18.4%	4	5.8%	22	13.2
	50～59	10	10.2%	8	11.6%	18	10.8
	60～69	8	8.2%	9	13.0%	17	10.2
	70～	2	2.0%	5	7.2%	7	4.2
	不明	1	1.0%	0	0.0%	1	0.6
	小計	98	100.0%	69	100.0%	167	100.0
延	0～9	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	10～19	22	18.2%	33	33.7%	55	25.1%
	20～29	31	25.6%	13	13.3%	44	20.1%
	30～39	19	15.7%	15	15.3%	34	15.5%
	40～49	24	19.8%	4	4.1%	28	12.8%
	50～59	11	9.1%	9	9.2%	20	9.1%
	60～69	11	9.1%	11	11.2%	22	10.0%
	70～	2	1.7%	12	12.2%	14	6.4%
	不明	1	0.8%	1	1.0%	2	0.9%
	小計	121	100.0%	98	100.0%	219	100.0%



相談内容別相談件数

相談内容		実		延	
		件数	率(%)	件数	率(%)
精神的な病気・障害に関すること	不安・疑問・対応方法	66	39.5%	92	42.0%
	診療機関・相談機関	10	6.0%	13	5.9%
行動上の問題に関すること	家庭内暴力	4	2.4%	6	2.7%
	引きこもり	23	13.8%	28	12.8%
	不登校	14	8.4%	24	11.0%
	不適応	5	3.0%	6	2.7%
	社会的問題行動	11	6.6%	12	5.5%
	食行動の異常	1	0.6%	1	0.5%
	その他の嗜癖	18	10.8%	18	8.2%
	虐待	0	0.0%	0	0.0%
	その他	2	1.2%	2	0.9%
	対人関係及び心理的なこと	家庭内のこと	6	3.6%	7
友人・近隣・恋人		0	0.0%	0	0.0%
職場内のこと		0	0.0%	0	0.0%
心理的な相談・自分の性格		2	1.2%	5	2.3%
話したい(頻回利用)		0	0.0%	0	0.0%
制度・福祉的なこと	施設に関すること	1	0.6%	1	0.5%
	経済的なこと	2	1.2%	2	0.9%
	就労	0	0.0%	0	0.0%
	日常生活	0	0.0%	0	0.0%
	その他の法・制度	0	0.0%	0	0.0%
教育に関すること	学校	0	0.0%	0	0.0%
	子育て・教育	0	0.0%	0	0.0%
当センターに関すること	当センターに関すること	0	0.0%	0	0.0%
その他	その他	2	1.2%	2	0.9%
計		167	100.0%	219	100.0%

診断区分別相談件数

診断区分	実		延	
	件数	率(%)	件数	率(%)
症状性を含む器質性精神障害	16	9.6%	20	9.1%
精神作用物質による障害	11	6.6%	12	5.5%
統合失調症・分裂病型障害・妄想性障害	3	1.8%	3	1.4%
気分(感情)障害	8	4.8%	15	6.8%
神経症・ストレス関連障害・身体表現性障害	9	5.4%	13	5.9%
生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群	0	0.0%	0	0.0%
成人の人格・行動の障害	18	10.8%	21	9.6%
精神遅滞	2	1.2%	2	0.9%
心理的発達の障害	5	3.0%	8	3.7%
小児期・青年期の障害	1	0.6%	2	0.9%
その他	1	0.6%	1	0.5%
診断保留・未診断	88	52.7%	116	53.0%
異常と認めず	5	3.0%	6	2.7%
計	167	100.0%	219	100.0%

3 薬物依存症者の家族教室

(1) 事業の目的

薬物依存問題を抱える家族が薬物依存症を理解し、家族として本人への対応方法等を学ぶ。また、自分の意見や考えを述べたり他の人の話を聞く中で自分の問題を見つめ直すことによって薬物依存症者および家族の問題解決を促す。薬物以外の依存症者の家族も参加している。

(2) 事業実績

1) 内容

前半は講義、後半はミーティング

開催日	講義テーマ
4月14日	薬物依存とは(薬物依存の基本構図) 講師：県こころの健康センター 医師 芦名 孝一
5月12日	当事者からのメッセージ 講師：日本ダルクアウェイクニングハウス(3人)
6月9日	家族の体験談 講師：群馬DA(ドラック・アディクション)家族会(2人)
7月14日	家族の対応パート1 講師：赤城高原ホピタル 精神保健福祉士 相澤 秀子
8月11日	家族の対応パート2 講師：赤城高原ホピタル 精神保健福祉士 相澤 秀子
9月8日	家族ミーティング(フリートーク)
10月13日	薬物依存とは(薬物依存の基本構図) 講師：県こころの健康センター 医師 芦名 孝一
11月10日	家族の対応パート1 講師：赤城高原ホピタル 精神保健福祉士 小河原 大輔
12月8日	家族の対応パート2 講師：赤城高原ホピタル 精神保健福祉士 小河原 大輔
22年 1月12日	当事者からのメッセージ 講師：群馬ダルク(2人)
2月9日	家族からのメッセージ 講師：群馬DA(ドラック・アディクション)家族会(2人)
3月9日	家族ミーティング(フリートーク)

2) 参加者

実施回数	参加者延人数
12回	89人

4 薬物相談窓口担当者研修

薬物依存症に対する援助についての知識を普及し、相談担当者の相談技術向上と関係機関の連携を図るために開催した。

日程	対象	内容・講師等	参加人数
平成22年 2月19日	保健、医療、 福祉、教育、 司法、警察 等の関係機 関において 相談に従事 する者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演 「援助者は依存からの回復をいかに信じられるか」 赤城高原ホスピタル 精神保健福祉士 樋田洋子 ・ 当事者からのメッセージ 群馬ダルク、日本ダルクアウェイクニングハウ ス、ビック・ラブ・クルー ・ 家族会からのメッセージ 群馬DA(ドラック・アクション)家族会 ・ 県内薬物乱用状況及び薬物対策事業 県薬務課担当者 	115名

5 高次脳機能障害者と家族の教室

(1) 事業の目的

当事者とその家族に対して、高次脳機能障害や社会資源に関する知識の普及、相談、レクリエーション等を実施することにより、社会参加の回復を図る。

(2) 事業の実績

1) 内容

毎月2回、第1・第3水曜日に実施。ミニ講座、認知リハビリテーション、家族ミーティング、レクリエーション等を行った。

開催日 (第1水)	内 容	開催日 (第3水)	内 容
		5月20日	ミニ講座「高次脳機能障害」
6月3日	認知リハ/家族ミーティング	6月17日	ミニ講座「家庭でできる訓練」
7月1日	認知リハ/家族ミーティング	7月15日	軽スポーツ
8月5日	作品作り		
9月2日	作品作り	9月16日	作品作り
10月7日	作品作り	10月21日	軽スポーツ
11月4日	認知リハ/家族ミーティング	11月18日	ミニ講座「高次脳機能障害とのつきあい方」
12月2日	認知リハ/家族ミーティング	12月16日	SAKURA お楽しみ会 (10:30~13:30)
		22年 1月20日	認知リハ/家族ミーティング
2月3日	ミニ講座「ノーサイド」 認知リハ/家族ミーティング	2月17日	SAKURA お楽しみ会 (10:30~13:30)
3月3日	認知リハ/家族ミーティング	3月17日	認知リハ/家族ミーティング

2) スタッフ

精神科医師、保健師、心理士、作業療法士（嘱託）、精神保健福祉ボランティアグループ SAKURA

3) 参加者状況

参加人数

(単位：人)

	実	延
当事者	15	88
家族	14	81
その他	23	39
計	52	208

参加した当事者年齢・性別

(単位：人)

年齢	男	女
10代	0	0
20代	3	1
30代	2	0
40代	3	0
50代	4	0
60代以上	1	1
不明	0	0
計	13	2

参加した当事者原因疾患

(単位：人)

原因疾患	人数
脳腫瘍	0
脳出血、脳梗塞	5
くも膜下出血	2
交通事故	5
スポーツ事故	2
その他	1
計	15

6 高次脳機能障害者支援事業

(1) 高次脳機能障害専門研修

日程	対象	内容・講師等	延参加人数
平成21年12月5日(土)	医療系専門職、福祉施設職員、市町村の障害者自立支援担当職員、当事者、家族等	<ul style="list-style-type: none">・高次脳機能障害への対応 敦賀温泉病院 院長 玉井 顕・高次脳機能障害者と家族と支援者の会より NPO 法人ノースサイド 理事長 立上 葉子	96人

7 ひきこもりの家族教室

(1) 事業の目的

「ひきこもり」の状態の者の家族支援の一貫として、本人はもとより家族が抱えている「社会生活からの孤立」、「疲労困憊の状態」、「心理的及び活動的にもひきこもってしまったている」等の困難な状況に対し、相談機関として継続的に関わりを持つことや家族同士が自分達の体験を共有することにより孤立感を和らげ、家族自身が社会からひきこもった状況から踏み出すため、家族が相互に援助しあえる場を提供する。また、必要に応じて地域関係機関の理解・協力・支援を得るためのプログラムを組み入れ、地域ネットワークの構築を図る。

(2) 事業実績

1) 内容

1・8月を除く第4木曜日 午後1時30分～4時に開催。

内容は、グループミーティング及びスーパーバイザーによるミニレクチャー（スーパーバイザー：こころの健康センター所長 赤田卓志朗）を実施した。

2) スタッフ

精神科医師、保健師、臨床心理士等

3) 参加者

実施回数	参加者延人数
10回	72人

8 自殺防止対策事業

(1) 事業の目的

深刻な社会問題となっている自殺を予防するために、自殺に対する正しい知識の普及啓発、自殺のサインに気づき早期対応するための相談体制の充実、及び自死遺族・自殺未遂者への支援等の事業を実施する。

(2) 事業の実施

<p>1 検討組織・推進体制</p>	<p>(1) 「群馬県自殺対策連絡協議会」の開催 第1回 H21年7月2日 第2回 H22年2月18日</p> <p>(2) 「自殺対策市町村・保健福祉事務所担当課長等会議」の開催 H21年7月8日</p>
<p>2 普及啓発・実態把握</p>	<p>(1) 「前橋市をモデル地区指定し事業」を実施（自殺予防月間）」 自殺予防月間啓発キャンペーンの実施 H21年9月5日：県庁県民ホールで開催、参加者数396人 H21年9月26日：けやきウォーク前橋で開催、参加者数582人 ・自殺予防に関するクイズを実施し、クイズに回答してもらった方に協賛企業からの景品をプレゼントした。 群馬テレビ、上毛新聞、ミニコミ紙に『自殺予防月間啓発キャンペーン』、『自殺予防講演会』の取材依頼</p> <p>(2) 「市町村への協力依頼」（自殺予防月間） 月間中、リーフレット、ポケットティッシュを配布し、活用依頼</p> <p>(3) 「自殺予防講演会の実施」（自殺予防月間） 日時：H21年9月5日13:30～15:00、場所：群馬会館、参加者343人 演題：「自殺したらあかん！」～東尋坊のちょっと待ておじさんからのメッセージ～ 講師：茂 幸雄（NPO法人こころに響く文集・編集局理事長） 川越みさ子</p> <p>(4) 「その他の普及啓発・実態把握」 新入社員への普及啓発事業 H22年3月4日：前橋商工会議所主催 新入社員研修会、参加者120人 H22年3月18日：桐生職業訓練協会主催 新入社員教養講座、参加者75人 県内大学の文化祭でリーフレットとポケットティッシュを配布 県内大学の文化祭での企画・展示に対する協力 中小企業メンタルヘルス研修(10/31 日本精神衛生会、県精神保健福祉協会主催) 高崎市民向け講演会への講師派遣（11/12 高崎市役所、11/17 榛名支所） 県薬剤師会に睡眠障害予防リーフレットを配布</p> <p>(5) 「パンフレット等の作成・配布」 パンフレット等の作成 ・自殺予防パンフレット、睡眠障害予防リーフレット ・相談窓口一覧カード入りポケットティッシュ ・標語マグネットシート パンフレットの配布 ・管内高校3年生へ配布（桐生保健福祉事務所） ・藤岡市成人式にて配布（藤岡保健福祉事務所）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・上野村・神流町の健康まつりで配布（藤岡保健福祉事務所） ・中之条町祭り（吾妻保健福祉事務所） ・各種講演会参加者(県内) ・標語マグネットシート作成し、公用車に貼り自殺予防の普及啓発を実施 <p>(6)「自殺予防と遺族支援のための基礎調査」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H21年度は自死遺族の協力を得ることができなかつたため実施なし。
4 相談体制の充実	<p>(1)「CRPシステム」の構築</p> <p>(2)「多重債務者相談会」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活課と共催で12回実施。こころの健康相談来所者72人 <p>(3)「こころの健康相談」の実施</p> <p>(9/13、11/8、2/14)精神保健福祉協会共催</p> <p>(4)面接、電話、メールによる相談</p>
5 人材育成 (ゲートキーパーの養成)	<p>(1)青少年世代対象研修</p> <p>学校関係者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年3月4日：安中市教育委員会 学校保健会、参加者65人 <p>(2)中高年世代対象研修</p> <p>労働関係者等研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年7月31日：県経営者協会労務委員会勉強会、参加者18人 ・平成21年10月28日：高崎商工会議所メンタルヘルスセミナー、参加者26人 ・平成22年1月22日：群馬労働局メンタルヘルスセミナー、参加者41人 ・平成22年1月26日：県倉庫協会講演会、参加者51人 ・平成22年3月18日：前橋商工会議所 経営支援セミナー、参加者20人 <p>司法書士会等研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年11月18日：司法書士会研修会、参加者62人 <p>民生委員等関係者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年6月9日：玉村町民生委員児童委員研修会、参加者58人 ・平成21年8月28日：高崎市民生委員研修「わかりやすい精神保健福祉講座」参加者34人 ・平成21年9月17日：吾妻保健福祉事務所「自殺防止対策研修会」、参加者36人 <p>(3)高齢者世代対象研修</p> <p>介護関係者等研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年12月12日：県ホムヘルパ協議会主催 「ホームヘルパー実践活動講座」参加者136人 <p>(4)医療関係者等研修</p> <p>かかりつけ医うつ病対応力向上研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年2月21日：県医師会と共催、県庁ビクターセンター 参加者96人 メンタルヘルスケア研修会 ・平成22年3月11日：県医師会主催、参加者116人 <p>(5)保健関係者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年5月19日：沼田市保健推進員講演会、参加者134人 ・平成21年6月27日：大胡保健推進員等「こころの健康“地域で暮らす”講演会」、参加者110人

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 21 年 11 月 25 日：玉村町社協互助会業務研修、参加者 19 人 ・平成 22 年 2 月 4 日：明和町社協役職員研修会、参加者 37 人 ・平成 22 年 3 月 4 日：吾妻保健福祉事務所保福「精神保健福祉ボランティア養成講座」、参加者 25 人 ・平成 22 年 3 月 6 日：前橋 4 地区保健推進員研修、参加者 63 人
5 自殺未遂者 ・自死遺族への支援	<p>(1)自死遺族相談の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第 1 火曜日 <p>H21 年度 相談者数 10 人</p> <p>(2)自死遺族交流会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第 2 金曜日 <p>H21 年度 参加者数 実 17 人、44 人</p> <p>(3)自殺未遂者支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急指定病院との連携による未遂者支援（情報提供 3 件）
6 自殺予防等 に取り組む民間団体との連携・支援	<p>(1)NPO協働提案パイロット事業</p> <p>利根沼田保健福祉事務所とNPOこころの応援団との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：「自殺を防ぐための地域における心の健康相談体制の充実」 ・平成 21 年 12 月 8 日：川場会場「民生委員と取り組む自殺予防」、参加者 89 人 ・平成 21 年 12 月 9 日：みなかみ会場「民生委員と取り組む自殺予防」、参加者 30 人